

高校世界史プリント（過去問類似）

近代（市民革命～帝国主義） No.4

名前

得点

/9

問1 普仏戦争における第二帝政の崩壊後、王党派と共和派の対立を経て、1875年に憲法（組織法）が制定されたことで正式に確立したフランスの政体は何か。（2004年 全国公立入試 類似）

1. 第四共和政 2. 第二共和政 3. 第三共和政 4. 第一共和政

問2 アメリカ独立革命後の国家形成に関する次の文章を読み、空欄 [] に入る最も適当な語句を答えよ。1783年のパリ条約によって独立を承認されたアメリカ合衆国であったが、当初の連合規約に基づく中央政府の権限は極めて弱く、国内の混乱に対処できなかった。このため、国家の統合を強化すべく1787年にフィラデルフィアで会議が開かれ、新たな基本法である [] が制定された。この法は、モンテスキューの思想を反映した三権分立の原則を導入して権力の集中を防ぐとともに、中央政府と州の権限を分ける連邦主義を採用した。しかし、その批准をめぐる争いは、中央集権を支持する連邦派と、州の主権や個人の自由を重視する反連邦派との間で激しい論争が繰り広げられた。（2006年 全国公立入試 類似）

1. アメリカ合衆国憲法 2. ナポレオン法典 3. フランス共和国憲法 4. バージニア権利章典

問3 19世紀後半の清朝において、従来の儒教的秩序や支配体制を維持しながら、西欧の軍事技術や実用的な科学技術のみを導入しようとした近代化運動を何というか。この運動の基本姿勢は、同時期のエジプトにおいて伝統的な支配権力を維持しつつ西欧式軍隊の創設や技術導入を進めた改革のあり方と共通性を持っている。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 辛亥革命 2. 変法運動 3. 光緒新政 4. 洋務運動

問4 18世紀後半以降のイギリスにおける産業革命の進展は、インドとの貿易関係を大きく変容させた。それまでインドの主要な輸出品であり、イギリスの毛織物産業などを脅かしていたが、イギリスでの機械化にともない、逆にイギリスからインドへ大量に輸出されるようになった製品は何か。（2010年 全国公立入試 類似）

1. 毛織物 2. 絹織物 3. 陶磁器 4. 綿織物

問5 1830年にオランダの支配から脱して独立を宣言した地域は、フランスで発生したある市民革命に強い影響を受けて蜂起した。この、復古王政のシャルル10世を退位させ、ルイ＝フィリップを王位に就けたフランスの政変を何というか。（2004年 全国公立入試 類似）

1. 七月革命 2. 六月蜂起 3. 二月革命 4. 百日天下

問6 辛亥革命後の中国では、伝統的な儒教道徳を批判し、文学や思想の近代化を目指す新文化運動が起こった。この運動において、雑誌『新青年』などに作品を発表し、革命後も旧態依然とした民衆の精神構造を風刺的に描いた小説『狂人日記』や、革命の本質を理解しないまま処刑される主人公を描いた『阿Q正伝』を著した文学者は誰か。（2011年 全国公立入試 類似）

1. 茅盾 2. 魯迅 3. 胡適 4. 老舍

問7 19世紀後半から20世紀初頭にかけて、ヨーロッパ列強はアジアやアフリカへの進出を本格化させた。この時期、フランス第三共和政などは、自国の優れた制度や技術、学問を非ヨーロッパ地域に普及させることが自国に課された義務であると主張し、植民地支配を道徳的に正当化しようとした。このような帝国主義を支えた支配の理念を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 文明化の使命 2. 社会進化論 3. 明白な天命 4. 白人の重荷

問8 1866年のプロイセン＝オーストリア戦争に敗北したオーストリア帝国は、国内の最大少数民族であるマジャール人に対して広範な自治権を認め、皇帝がその王を兼ねる二重帝国を樹立した。1867年に結ばれた、このオーストリアとハンガリーとの政治的妥協を何と呼ぶか。（2019年 全国公立入試 類似）

1. ヴィラフランカ 2. プロンビエール 3. プレスブルク 4. アウスグライヒ

問9 イギリスはインドの植民地支配を進める過程で、地租を安定的に徴収するために地域に応じた異なる土地制度を導入した。このうち、ベンガル地方などの北インドを中心に実施され、従来の地主層に近代的な土地所有権を認め、彼らを納税義務者として農民から地租を徴収した制度を何というか。（2015年 全国公立入試 類似）

1. ジャーギール制 2. ザミンダーリー制 3. マハールワリー制 4. ライヤットワリー制

答え合わせ・解説 No.4

問1	答え 3 第三共和政	普仏戦争での敗北とナポレオン3世の捕虜化により第二帝政が崩壊した後、臨時政府が発足した。王党派が多数を占める議会との妥協の中で、1875年に「第三共和政憲法」と呼ばれる一連の組織法が制定され、大統領制と二院制議会を基礎とする共和政の仕組みが正式に整えられた。
問2	答え 1 アメリカ合衆国憲法	1783年のパリ条約で独立が承認された後、当初の連合規約による緩やかな連合体では国家の統治が困難であったため、1787年にフィラデルフィアで憲法制定会議が開催された。ここで起草されたアメリカ合衆国憲法は、モンテスキューの『法の精神』に由来する三権分立（立法・行政・司法の抑制と均衡）や、中央政府の権限を強めつつ州の自治を認める連邦主義を特色とする。この憲法の批准をめぐるのは、ハミルトンらの連邦派とジェファソンらの反連邦派が対立した。
問3	答え 4 洋務運動	19世紀後半の清朝では、太平天国の乱の鎮圧に活躍した曾国藩や李鴻章ら漢人官僚が中心となり、西欧の優れた軍事技術や産業技術を導入して富国強兵を図る改革が推進された。この改革は「中体西用」（中国の伝統的な制度や思想を根本とし、西洋の技術を実用として利用する）をスローガンとしており、政治体制の根本的改革には踏み込まなかった。この姿勢は、エジプトで伝統的な支配体制を維持しながら軍事・技術の近代化を進めた改革と共通している。
問4	答え 4 綿織物	18世紀のイギリス産業革命以前、インドは高品質な綿織物をヨーロッパへ輸出していた。しかし、イギリスで紡績機や織機が発明されて綿工業の機械化が進むと、安価なイギリス製綿織物がインドへ流入するようになった。これにより、インドは原料である綿花の供給地、およびイギリス製綿製品の市場へと転落し、インドの伝統的な手工業は壊滅的な打撃を受けた。
問5	答え 1 七月革命	ウィーン体制下でオランダの支配下に置かれていたベルギーでは、宗教や言語の違いから不満が高まっていた。1830年7月にフランスでシャルル10世の専制に抗議する市民が蜂起した七月革命が勃発すると、その影響が直ちにベルギーに波及し、オランダからの独立を求める運動へと発展した。
問6	答え 2 魯迅	新文化運動において、旧社会の因習や儒教道徳を痛烈に批判したのが魯迅である。彼は『狂人日記』で伝統社会の「食人」の構造を告発し、代表作『阿Q正伝』では辛亥革命の限界と民衆の無自覚な精神構造（精神勝利法）を批判的に描き、中国近代文学の基礎を築いた。なお、雑誌『新青年』を創刊したのは陳独秀である。
問7	答え 1 文明化の使命	19世紀から20世紀のヨーロッパ列強は、自国の近代文明を非ヨーロッパ地域に普及させることを大義名分として、植民地支配を正当化した。フランス第三共和政などでは、この理念が強く主張された。なお、フランスでは1848年の二月革命時に奴隷制がすでに廃止されているため、第三共和政期に奴隷制を用いて植民地開発を行ったとする記述は誤りであり、この歴史的背景とあわせて理解することが重要である。
問8	答え 4 アウスグライヒ	プロイセン＝オーストリア戦争に敗北したオーストリアは、ドイツ統一から排除され、国内の民族運動を抑える必要に迫られた。そこで1867年にハンガリー（マジャール人）に自治権を認める妥協（アウスグライヒ）を行い、オーストリア＝ハンガリー帝国を成立させた。これにより、外交・軍事・財政のみを共通にする二重帝国体制が構築された。
問9	答え 2 ザミンダーリー制	イギリスは東インド会社を通じてインドの植民地化を推進する際、安定した財政収入を得るために地租徴収制度を整備した。ベンガル地方などの北インドでは、従来の徴税請負人であった地主（ザミンダール）に土地の所有権を認め、彼らから地租を徴収する制度が導入された。この制度のもとで、地主は小作農から高い小作料を徴収して経済的に困窮させ、農村の階層分化を進行させる要因となった。一方、南インドや西インドでは、農民の土地所有権を認めて直接徴税するライヤットワリー制が導入された。